

やってみよう! ワークシート

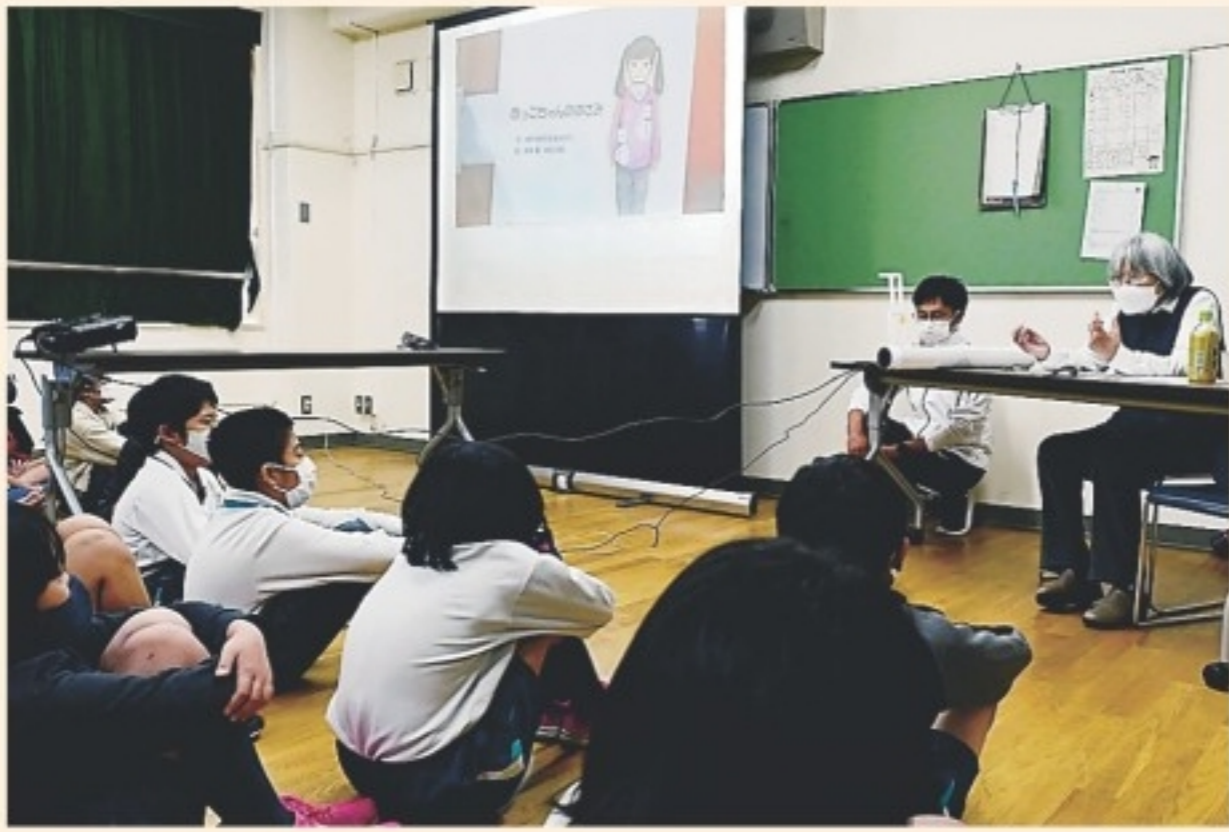


新聞には毎日、たくさんの記事や写真、広告がのっています。世界的な大ニュースから身近な地域の話までさまざまです。神戸新聞社は、その中から知ってもらいたいことや深く考えてほしい記事を取り上げ、ワークシートを使って自宅学習などに活用してもらっています。今回は、阪神・淡路大震災で亡くなった一人の少女のお話です。

震災って何? アッコちゃんの授業

むすめ 娘の声が聞こえる気がした

浅井鈴子さん(右)から話を聞く5年生 神戸市立西灘小学校 (撮影・中西幸大)



1995年1月17日早朝。自宅

「ほんとに真っ暗。明かりがない。みんな、経験したことがないと思う」

西灘小の一室に、浅井鈴子さん(69)が招かれた。昨年11月21日、震災で亡くなった少女、アッコちゃんのお母さんが5年生に語り始めた。

「ほんとうに真っ暗。明かりがない。みんな、経験したことがないと思う」



浅井亜希子さん

が倒壊し、母子2人で生き埋めになった。足を圧迫された亜希子さんは「クラッシュ症候群」を発症する。

「手術後は病室で呼吸器をつけて、管だらけの姿。ほんの少しの面会時間にはいつも声をかけろね、友達に会おうね」って。あの子の頭は16日夜で止まっているから」

懸命に生きようとした亜希子さんはしかし、2月10日に亡くなった。

「年月が過ぎても毎日悲しくて。家で一人、写真を前に『なんで私じゃなかったんだろう、あなたの方が長く生きられたのに』って」

娘が生きた証しにと、西灘小に時計を寄贈した。絵本を作った。語り部活動もした。苦しかったけれど、「私のこと、話して」、そんな娘の声が聞こえる気がした。

「生きていたら、あなたたちのお父さん、お母さんの世代が私の娘。そう思うと、くやしい、悲しい、つらい。でも、こうやって亜希子さんのことを伝えて、『命って大切だな』と思ってくれるなら、うれしい」

授業が終わると、児童全員が立ち上がった。「ありがとうございます、お話を聞きました。声をそろえて、お話をします。鈴子さんは優しいまなざしで、教室を後にした。(上田勇紀)

昨年12月21日の朝刊にのった記事

①阪神・淡路大震災で亡くなった浅井亜希子さんの母、鈴子さんは授業を通し、西灘小学校の子どもたちに何を伝えたかったのでしょうか

②鈴子さんは苦しかったけれど、絵本を作ったり、語り部活動をしたりしました。それはなぜですか

③「神戸新聞NEXT」「アッコちゃんの授業」でキーワード検索し、このシリーズの他の記事も読んで、空欄を埋めましょう
・倒壊した自宅で生き埋めになった母娘は

「

」

・校門横の

「

」

は「(亜希子さんが)

--	--	--	--	--	--	--	--

」

答えは22日の「週刊まなびー」にのるよ。



との思いをこめて設置された

④記事を読んで、亜希子さんがどんな子だったか書きましょう

⑤阪神・淡路大震災で何人が亡くなりましたか。阪神・淡路・播磨地域の人、あなたのまちでは何人が亡くなりましたか。「神戸新聞NEXT」「特集阪神・淡路大震災」でキーワード検索して調べましょう

⑥地震から命を守るため何が大切か、おうちで話し合ってみましょう

もっとワークシートをやってみたいと思った人は、電子版「神戸新聞NEXT」の「神戸新聞NIE」コーナーでワークシートを検索してみてください。たくさんあるので興味のある新聞記事を選んでね。今回のワークシートの答えは、メール(kobe-nie@kobe-np.co.jp)か、はがき(〒650-8571 神戸新聞社「週刊まなびー」ワークシート係)で、名前と学年、または年齢を添えて1月21日必着で送ってね。正解者の中から、抽選で毎月10人に神戸新聞の記念品をプレゼントします。

8日週刊まなびー

ワークシートの
解答例

①もともと【南米アマゾン川】流域の【暖かい】水辺にすみ、【寒さ】が苦手だから

②ゆず湯

③ふんをする

④自由記述

⑤自由記述

⑥昨年【トラ】→今年【ウサギ】